

松本産業株式会社

http://www.matsumoto-co.jp/

本社工場 尼崎市久々知3-23-33
☎(06)6499-1231(代)

枚方営業所 ☎(072)847-3592
東初島営業所 ☎(06)6489-0101
松本ビル ☎(06)6412-1878



購読料(前納) 1年27,000円(消費税含) 毎月1日発行(禁転載)

発行所

株式会社 日刊市況通信社

大阪本社 大阪中央日本橋1-17-20 日本橋丸ビル5F
☎ 06(6631)5651(代表)
東京本社 東京都千代田区東神田1丁目5-5 マルキビル4F
☎ 03(3864)6021(代表)
振替口座 00170-8-363521番
名古屋支社 名古屋市中村区豊国通1-26-1 大崎ビル4F
☎ 052(411)6521(代表)
振替口座 00880-3-11099番

鉄・非鉄スクラップ市況の動き

■ 国内 国内鉄スクラップ市況は3月、好調な海外・輸出市場が牽引し、続伸する動きとなった。

国内電炉各社は減産体制を維持し、国内需要は低迷した状態が続いたものの、海外・輸出市場が大幅に続伸したことから、国内電炉の値上げ改定が全国的に広がった。関東鉄源・関西鉄連テnderが高値で落札されたうえ、3月中旬には日本H2の輸出価格が1トあたりFOB2万円台に載せたことから、東京製鉄は3月に入り8日、15日に拠点別、17日、23、26日に全拠点の値上げを実施。減産体制下ながら、他の国内電炉も値上げ改定を実施した。

国内H2の炉前総合価格(本紙調べ)は、3月第3週末(3月19日)が1トあたり1万6433円。第2、第3週と2週連続の値上がりで、昨年9月以来の1万6000円台となった。

■ 海外 海外の鉄スクラップ市況は3月に入っても続伸した。鉄鉱石価格の底入れ反発、それに伴う鋼材相場の値上がりなどが鉄スクラップ相場に作用した。

トルコの鉄スクラップ輸入量は、3月中旬時点で米HMSで1トあたりCFR230ドル弱、欧州HMSでCFR220ドル弱となり、2月末に比べて40ドルどころの大幅な上伸となった。これを受けて米No.1ヘビーのコンポジット価格は、3月7日に前週比9.0ドル高、14日に同1.0ドル高の1トあたり173.50ドルへ上伸した。これがアジア市場にも波及したが、アジアミルは割高な欧米玉を避け、割安な日本玉手当てに動いた。これが日本玉輸出価格が上伸する要因だ。

鉄鉱石の中国向けスポット価格は今年1月に一時、1トあたりCFR40ドルを割ったが、3月初旬には60ドル半ばまで急回復。その後、値下がりしたものの50ドル台を維持し、他の製鋼原料相場を支えた。

■ 関東・東海埠頭 関東地区の2月の船送り数量は約26万5千ト(速報)、うち輸出量は約25万ト(速報)だった。3月25日時点の浜値は、H2が1トあたり1万8500円中心。HSと新断が両品種とも2万500円中心だった。関東電炉の買値よりも高値水準を維持している。3月の東西両テnderは予想を上回る高値で落札された。3月9日の関東鉄源テnderのH2平均落札価格は前回は1,832円高の1万8550円。15日の関西鉄連テnderはH2平均1万9066円の高値で落札した。

東海地区の2月の船送り数量は約9万9千ト、うち輸出量は約8万4千トだった。東海地区の浜値は3月25日時点でH2が1万5500~6500円中心。新断が1万7500~8500円中心だった。

■ ステンレス・非鉄 18-8ステンレススクラップ(SUS304)相場は上昇。LMEニッケル価格が3月上旬に9,000ドル台を回復し、スクラップ需給のタイト感も増したことから、東日本および中部地区では1キロあたり10円上げの流れが支配的となった。一方、輸出業者は値上げを5円に抑えたほか、他の国内メーカーは個別での対応に終始。西日本では5円どころで上げ渋る動きが目立った。

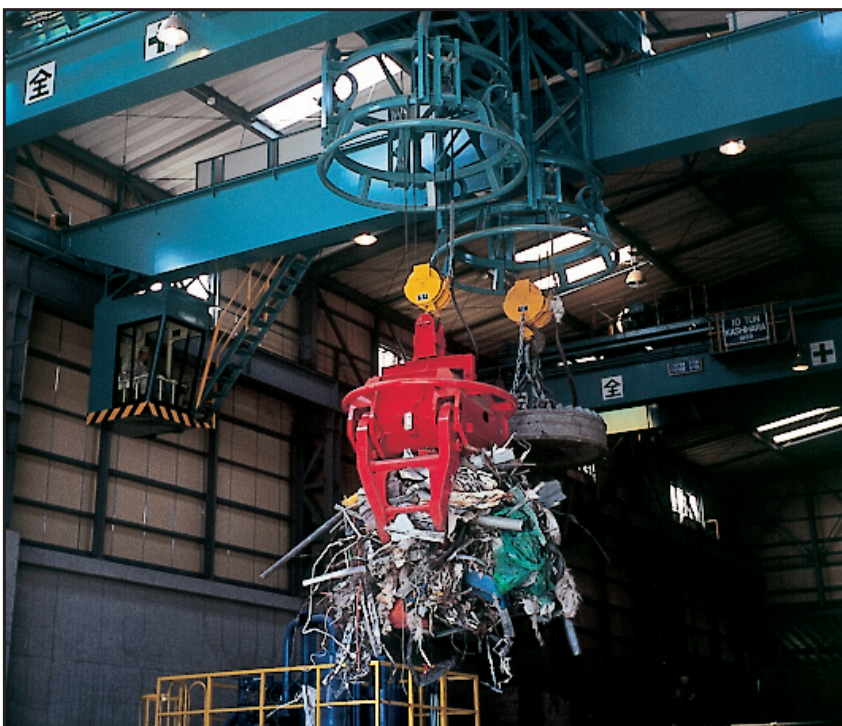
銅スクラップ相場は2月下旬比で16~32円程度値上がりした。建値が月初に1キロあたり600円台を回復。LME銅市況が5,000ドル水準で底堅く推移したことから、スクラップも強地合いとなった。ただ、先高期待が高まったことで、荷動きの反応は限られた。

アルミスクラップ相場は弱横ばい。LMEアルミ市況が乱高下した中、為替の円高基調も圧迫材料となり、下旬にかけて先安含みで推移した。製品生産の前年割れが続く、原料需要も伸び悩んだ。

4月号の紙面

- 国内鉄スクラップ市況——全国的な相場上伸局面に…………… 2・3
- 部品の総合コンサルタント——株式会社JARA
——コベルコが切り開く(No.150)…………… 4
- 三洋貿易 鉄リサイクル事業者向け販売を拡大
——最新ハンドヘルド金属分析器の動向…………… 5
- 日立建機 メタルリサイクル「Hi-OSS道場」Vol.63
今月のHi-OSS道場は「東港金属」殿! …… 6
- 資源リサイクル・廃棄物情報…………… 7・8

金属リサイクルのすべてをここに
日刊市況通信ホームページ
<http://www.mrj.jp>



KASHIHARA

スクラップ荷役のオーソリティー

- 修理・アフターサービス迅速対応
- 豊富な部品在庫
(モーター、ブレーキ、リフマグケーブル他)
- 使用頻度に応じたクレーン設計自由自在
(40%EDから連続定格の100%ED頻度まで)

大阪労働基準局 製造許可工場



カシハラ鐵構株式会社
クレーン事業部

〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町2丁6番32号
TEL(072)243-8777(代) FAX(072)243-8780
本社 大阪市西区南堀江3丁目14番12号 イイダ第2ビル7F
TEL(06)6532-0032(代) FAX(06)6532-0230

<http://www.e-kashihara.co.jp>

- ダイナミック制御で巻上ブレーキの負担半減
- 掴み装置付(親子)で長尺物ドライ粉の荷役時間激減
- クレーン能率アップ改造、設計、計画



資源リサイクル・廃棄物情報(非鉄スクラップ)

非鉄スクラップ市況

アルミ 海外不安定で弱地合いも横ばい基調

2月後半に1キあたり1~3円値下がりがしたアルミスクラップ相場は、3月は横ばい基調で推移した。上旬までは海外アルミ市況が堅調に推移した半面、為替の円高や、国内のアルミ製品市況の回復遅れによる需要減が継続。下旬にかけては指標が反落したが、発生不足による需給のタイト感が材料となり、下げ余地が縮小した。

指標LMEアルミ市況は不安定な展開。一時は1,600ドル台に乗せるなど続伸したが、月央からは中国の製錬大手が増産を表明したことを圧迫材料に1,500ドル割れの水準が定着した。為替市場がTTS1ドル=112円台を付けるなど、円高のままこう着したことも地合いを弱めた。

外部環境が徐々に悪化した一方、スクラップの需給には一定のタイト感が散見。使用済みアルミ缶(UBC)も韓国筋からの引き合いに小幅ながら回復傾向が見られ、自治体入札の価格がゾリ高に転じた。

主な品種の市中実勢価格(関東地区、3月22日時点)は、新切アルミ1級が1キあたり107~117円、ビス付きサッシが87~97円、アルミ缶Aプレスが85~95円、アルミ缶バラが70~80円見当。

非鉄金属スクラップ相場(非鉄専門問屋持ち込み円/kg)

	3月22日現在			2月19日現在		
	大阪	東京	名古屋	大阪	東京	名古屋
銅	431	431	431	399	399	399
廃被覆銅線(銅分40%)	162	158	158	146	142	142
真鍮	283	283	283	251	251	251
アルミ缶プレスA	42	45	42	43	46	43
アルミ缶プレスB	30	32	30	31	33	31
アルミ缶バラ	23	26	24	24	27	25
アルミ厨房品	64	65	64	67	68	67
アルミビス付きサッシ	73	74	73	76	77	76
18-8ステンレス	40	50	45	35	40	35
クロム系ステンレス	5	5	5	5	5	5
鉛管板	63	63	63	62	62	62
バッテリー	40	40	40	40	40	40

アルミ缶プレスの二次合金メーカー標準買値(円/kg)

	※16年3月価格は3月22日現在の平均価格(次号に確報値を掲載します)。												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
2012年	68	70	75	71	67	61	56	56	59	61	58	61	63.6
(平成24年)	(83)	(85)	(90)	(86)	(82)	(76)	(71)	(71)	(74)	(76)	(73)	(76)	(78.6)
2013年	67	75	75	80	77	74	77	77	77	77	79	79	75.8
(平成25年)	(82)	(90)	(90)	(90)	(95)	(92)	(89)	(92)	(92)	(92)	(94)	(90.8)	
2014年	81	81	81	84	84	84	90	93	98	95	103	106	90.0
(平成26年)	(96)	(96)	(96)	(99)	(99)	(99)	(105)	(108)	(113)	(110)	(118)	(121)	(105.0)
2015年	96	96	93	88	83	68	63	60	53	49	42	39	69.2
(平成27年)	(111)	(111)	(108)	(103)	(98)	(83)	(78)	(75)	(68)	(64)	(57)	(54)	(84.2)
2016年	36	35	35										35.3
(平成28年)	(51)	(50)	(50)										(50.3)

※上段はB缶(スチール缶混入のもの)、下段カッコ内はA缶(アルミ缶99%以上)の価格

銅 建値キ600円回復で堅調感

銅スクラップ相場は上昇基調。建値が月初に1キあたり600円台を回復し、LME銅市況の堅調感を背景に下旬にかけても強含みで推移した。

スクラップの市中実勢価格(関東地区、3月22日時点)は、1号銅線が1キあたり535~550円、下銅が435~445円、黄銅削り粉が365~375円見当。前月下旬の水準から16~32円程度値上がりした。

相場が上向いた半面、スクラップの深刻な発生薄による在庫の減少で、メーカー納入枠の数量確保が困難になる問屋が散見。需給の引き締まりが強まる中、売り買い双方とも先高含みの相場に手掛かり難の商状となった。

輸出向けの品種は小幅高。銅価の上昇にも中国側の反応が鈍く、実需面での明確な好材料が見当たらないため、安値修正にとどまった。方向感を欠く中、為替が円高基調で推移したことも輸出市場の上値を抑えた。

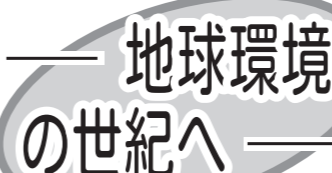
ステンレス 上げ局面にも慎重ムードが混在

ステンレススクラップ(SUS304)相場は上昇。3月上旬にLMEニッケル価格が4カ月ぶりの水準に戻す9,000ドル台を回復し、関東の專業大手が1キあたり10円の値上げに動いた。一方、輸出業者は値上げを5円に抑えたほか、他の国内メーカーは個別での対応に終始。年度末決算期中の、ニッケルが中旬は反落したこともあり、慎重ムードが混在した。

メーカー前価格は110円を高値にして、各社の措置が分かれた。複数の特殊鋼ミルが一時的に生産水準を引き上げたことを受け、スクラップ需給のタイト感は増長。東日本および中部地区では市中価格にも10円上げの流れが支配的となった。その半面で、西日本は輸出業者の反応に限られたため、気配高にも上げ渋る動きが大半。慢性的な発生不足も解消されず、強地合いになりきれない展開が続いた。

再生用古紙相場

	新聞・雑誌・ダンボール相場(日刊市況通信社調べ・直納問屋への売り値 円/kg)							
	3月22日調査分	東北	関東	東海	北陸	近畿	中国	全国平均
古新聞	高値	7.0	8.0	7.0		7.0	7.0	7.2
	並値	6.0	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.4
	安値	5.0	6.0	6.0				5.8
雑誌	高値	6.0	7.0	7.0		7.0		6.8
	並値	5.5	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.9
	安値	4.0	5.0					4.5
ダンボール	高値	8.0	9.0	8.0		8.0	8.0	8.2
	並値	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
	安値	6.0	7.0					6.7



資源リサイクル・廃棄物情報(鉄スクラップ)

鉄スクラップ・スチール缶市況

全国概況 堅調な海外・輸出市場が牽引

3月の国内鉄スクラップ市況は、堅調な海外・輸出市場に牽引されて続伸した。鉄鉱石の上伸などを受けて、中国をはじめとする各国で鋼材市況が底入れ反発したことも鉄スクラップ相場へ波及した。原油価格の上伸など商品相場全体が底入れしたことを指摘する声も多い。

H2輸出価格は3月第3週までに1トあたりFOB2万円台に乗せた。国内では東京製鉄が8、15、17、23、26日と拠点別に鉄スクラップ購入価格を値上げ。他の国内電炉も値上げ対応を、一部は複数回実施した。

H2炉前総合価格(関東・中部・関西平均)は3月第3週末(19日)時点で1トあたり1万6433円となり、前月末から933円の上伸となった。関東は3月に入り第2・第3週と2週連続、中部と関西は第3週に上伸。各地区の上げ幅は500~1,000円どころとなった。

東日本 浜値が続伸し電炉が値上げ対応

東日本の鉄スクラップ市況は続伸した。2月中旬以降、関東相場は様子見商状が続いたが、輸出価格の続伸を背景に浜値が上伸したことから、これに対応して電炉筋の値上げ改定が広がった。それでも減産体制下にある関東電炉各社は値上げに慎重な姿勢を維持したため、海外相場や輸出価格、浜値よりも安値水準を維持した。3月下旬に至っても海外・輸出市場は堅調なため、市中では先高見通しが大勢だ。

関東電炉のスチール缶スクラップ(Cプレス)の2月平均購入価格は前月比600円高、前年同月比8,900円安の1トあたり1万500円となり、1万円台を回復した。3月は、電炉筋の値上げ改定が広がったため、第3週末(3月19日)までの平均価格で1万1200円へ続伸している。

鉄スクラップ持込み問屋買値(3月22日現在)

	東京			名古屋			大阪		
	当月	前月	前々月	当月	前月	前々月	当月	前月	前々月
ギロチン材(A)	5.0	4.5	7.0	6.0	10.0	9.0			
ギロチン材(B)	4.0	3.5	5.0	4.0	6.5	5.5			
ギロチン材(C)	—	—	2.5	1.5	6.0	5.0			
スチール缶(ミニプレス)	—	—	2.5	1.5	2.5	1.5			
ペール缶・一斗缶等	—	—	—	—	—	—			
廃車ガラ	2.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0			
廃車ガラプレス	4.0	3.5	3.5	2.5	3.5	2.5			

メーカー持込み価格(炉前値)(トキ当たり)

	H 1	H 2	H 3	缶プレスC	シュレッダーA	シュレッダーB
東京	12.0	11.5	8.5	9.0	12.0	10.0
名古屋	16.5	15.5	14.0	8.5	11.5	11.5
大阪	14.5	13.0	13.0	9.5	13.5	11.5

中部 鉄スクラップは上伸し強基調

中部地区の鉄スクラップ市況は上昇して強基調の展開。名古屋メーカーは東鉄田原の値上げを受けて、3月18日と23日に電炉6社が500円値上げを実施。市況は前月比1,000円方の上昇となっている。新規輸出価格の上昇により市況は底打ち反発が鮮明となり、2月から緩やかな上昇カーブを描いている。名古屋メーカーH2建値は3月25日現在1万3,500~1万5,500円。

3月の名古屋電炉6社の粗鋼生産予定は推定約36万トで、前月比3%ほど増加する見込み。スクラップの購入予定量はほぼ前月並みの32万ト前後の予想。地区電炉のCプレス建値は上物7,000~1万3,900円。2月の東海沿岸7港からの総船積み量は前月比2.3%減の9万8,640トと2カ月ぶりの減少。うち輸出は3.2%減の8万4,220トで2カ月ぶりに前月を下回った。

関西 内外格差背景に3ヶ月ぶり上昇局面

関西地区の3月鉄スクラップ市況は内外格差を背景に3ヶ月ぶりの上昇局面となった。2月後半以降、中国の半製品を含めた急激な製品価格の上昇に伴い、輸出相場が急伸展開を見せ、西日本との価格差がさらに拡大へ向かった。これを受け、東京製鉄岡山工場は8日、15日、17日にそれぞれ500円計3度の買値引き上げへ動いたことで、姫路地区もこれに足並みを揃え、22日時点でのH2実勢値は1万6,000~1万7,000円へ上伸。また、大阪地区は2月以降、相次ぐ共同輸出船積みによる入荷難を映し、すでに裏値対応も散見され、東京製鉄岡山工場の買値を上回っていたことで、8日の上げ改定は見合わせつつも、15日、17日にかけて2度計1,000円の追値値上げに動き、同日時点でのH2実勢値は1万5,500~1万7,000円、Cプレス実勢値も同様に1万3,500~1万5,500円へそれぞれ上伸した。

スチール缶(Cプレス)価格動向(関東)

	※16年3月価格は3月22日現在の平均価格(次号に確報値を掲載します)。												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
平成20年	33.0	37.0	43.0	49.0	53.5	58.0	59.0	39.5	32.5	12.5	6.5	9.0	36.0
21年	12.0	12.5	8.5	12.0	14.0	15.5	17.5	21.0	19.0	15.0	17.0	17.0	15.1
22年	20.0	22.5	28.0	30.0	28.7	21.5	20.5	22.0	23.0	20.0	22.5	26.0	23.7
23年	27.8	29.2	28.0	30.0	27.0	26.0	26.5	25.5	27.3	21.5	18.8	23.7	25.9
24年	22.7	22.8	24.0	23.3	21.8	17.2	17.2	18.4	16.6	14.0	16.6	18.6	19.4
25年	21.6	24.3	26.0	25.2	24.8	24.2	23.7	25.9	27.9	28.4	31.2	31.2	26.2
26年	29.0	27.2	22.0	25.1	25.1	25.8	26.8	26.8	28.0	24.8	23.7	22.4	25.6
27年	21.3	19.4	18.1	19.3	20.1	21.0	17.8	16.9	12.2	9.6	9.2	10.0	16.2
28年	9.9	10.5	11.2										10.5

※上表は関東地区における缶プレスC規格の主要電炉工場買値平均推移で、供給数量が月間50~100ト以上で安定しているものの購入価格。
※東日本でも東北・北海道地区などは、これより3,000~8,000円安値。
※Cプレスとは飲料缶等スチール缶をプレス加工したもので、3辺の和が1,800ミリ以下。乾電池、スプレー缶、ビニール等の異物、不純物を完全に除去した良質品。(2008年6月鉄スクラップ検収統一規格)
※28年3月価格は19日現在の平均価格(次号に確報値を掲載します)。



鉄スクラップ資料集(2016年版)

スクラップ関連データをわかりやすく集約。業界研究や新人研修に。

- ・需給や関連法解説
- ・スクラップ関連用語集
- ・日、中、韓、台、越メーカー地図
- ・関連データ など

定価3,500円(税別・送料別)
お申込は日刊市況通信社
〈TEL〉東京 03-3864-6021
大阪 06-6631-5651
名古屋 052-411-6521

お申込書 冊 ※本広告部をA4用紙などに印刷の上お送り下さい。

会社名 _____ 電話 _____

住所 〒 _____

お送り先 東京 tokyo@mrj.jp FAX 03-3864-6024
大阪 osaka@mrj.jp 06-6631-5725
名古屋 nagoya@mrj.jp 052-411-6530



※サイズ:A5版 ※画像は2014年版のもの

鉄・非鉄スクラップのすべてMRM
メタル・リサイクル・マンスリー
特集号含み年間13回発行
27,000円(年間・消費税含む)
大阪本社 TEL:06(6631)5651 FAX:06(6631)5725
東京本社 TEL:03(3864)6021 FAX:03(3864)6024
名古屋支社 TEL:052(411)6521 FAX:052(411)6530

スチール缶は「無限リサイクル」生まれ変わって全国で活躍中!
スチール缶リサイクル協会 RRR
私鉄でできているんだよ!
スチール缶は強く加工しやすい純度99.9%の鋼鉄製です。とてもいい鉄なので、リサイクルすればいろいろな「鉄製品」に何度でも生まれ変わることができます。
さあ、みんなでリサイクルしましょう!
スチール缶リサイクルについて詳しくはホームページをご覧ください。